

防災について

市内の防災無線の整備状況はどうか。また、特に設置数が少ない松尾地区の整備の進捗状況はどうか。

総務部長 平成26年4月1日現在の整備状況ですが、市内124局を整備しています。そのうち松尾地区の進捗状況は、平成24年度は大平地区に3局、平成25年度には大平地区に1局、松尾地区1局設置しています。また、今年度、大平地区に1局設置をする予定です。

豚流行性下痢 (PED) について

市内の豚流行性下痢 (PED) の発生状況はどうか。また、市としての対応・対策はどうか。

経済環境部長 千葉県内の発生状況は、3月27日から本病の発生が確認され、6月2日現在、97例となっております。県は現在、県内10カ所に消毒ポイントを設置し、養豚関連の車両等に消毒を実施しているところです。市では、5月23

日から、松尾IT保健福祉センター敷地内に消毒ポイントを設置し、毎日農場に出入りする車両への消毒を行い、本病の予防・蔓延防止に努めています。

市東京オリンピック・パラリンピック戦略推進について

市東京オリンピック・パラリンピック戦略推進を、市はどのように捉え、考えているのか。

副市長 5月20日に市長を本部長とする戦略推進本部を設置しました。今後若手の職員も入れ、分野別の専門部会を立ち上げ、国県の動きも見つつ、本年12月をめどに、実施計画の策定を目指したいと考えています。

河川について

市内を流れる2本の二級河川、作田川、木戸川に係る事業計画の内容はどのようなものか。また、現在着手されている各事業の進捗状況はどうか。

都市建設部長 作田川に関しては、鍛冶

橋から八反目橋まで、成東堰の整備を優先して進めているところです。木戸川に関しては、河口部分で防災工事を進めています。どちらも、災害対策等に対して、非常に大切な事業ですので、早期に完成できるように要望していきたいと考えています。

緑海橋の歩道設置について、現在の状況はどうか。

都市建設部長 非常に困難な状態にあると伺っています。現況の橋の構造や橋前後の空間の確保が難しいということが原因のようです。

昨年の台風、大雨にて発生した作田川、木戸川に係る災害の発生件数と被害状況はどうか。

総務部長 平成25年10月15日から16日にかけての台風26号に伴う記録的な大雨、平成26年2月15日の大雨により、河川周辺の住家と道路に被害が出ました。

平成25年の台風26号における住家被害は、床上浸水が26棟、床下浸水が32棟です。平成26年2月15日の大雨により、床下

浸水が7棟の被害がありました。

道路の被害状況は、いずれの災害も、作田川流域では、成東新町地区、和田地区から山武矢部地区の区間、及び日向駅裏側の地域での道路冠水がありました。また、木戸川流域では、豊岡地区を中心に道路冠水被害がありました。

平成21年の一般質問にて、木戸川の河川改修を県に要望するよう提言し、その後、平成23年にも再度、要望している。3度目になるが、昨今の異常気象に対応すべく、木戸川の河川改修の重要性を再度認識し、木戸川も改修期成同盟会の設立を強くお願いしたいがどうか。

市長 上流の流域内の自治体にも伺いをしている形です。検討したいと思っています。重要な問題と捉えて、定期的に要望活動をしていけるようにという趣旨だと考えますので、どういう手法がいいのかを検討したいと思います。



加藤 忠勝 議員

関連質問

人口減少問題について

市としての具体的な施策はどうか。

市長 3つの施策に分けたいと思います。1、若者を呼び込む有効な手段を検討するため、転入・転出者の意識調査を実施します。2、子育てしやすい環境を整備します。3、無駄を省いたスリムな市政運営と財政を行います。

短期・長期的な方針の構築はどうか。

市長 市民一人ひとりに非常に重大な問題という認識をしっかりと持っていたいただき、それができることに取り組んでいくこととしたいと思います。



小川 良一 議員

関連質問

成田空港のカーフェリー(弾力的運用)について

昨年は58回と聞いて、内訳と市に影響のある離着陸回数はどうか。

総務部長 悪天候によるもの41件、滑走路の封鎖や空域制限によるもの9件、急病人の発生によるもの7件、安全阻害行為、客室乗務員等の指示に従わないといったような事象による玉突き遅延1件です。

市に影響のある空港南側の離着陸は、31件発生しており、着陸22件、離陸9件です。

昨年の2月に行われた「カーフェリーの弾力的運用に係る住民説明会」の席上で、ある市民からの質問に対し、市長から「騒音地区の要望には優先的に対応します」との答弁があった。今も考えは変わらないか。

